

この世界の片隅に

昭和20年、広島・呉。
わたしはここで生きている。



のん 細谷佳正 稲葉菜月 尾身美詞
小野大輔 潘めぐみ 岩井七世 牛山茂 新谷真弓/澁谷天外(特別出演)
原作：このの史代「この世界の片隅に」(双葉社刊) / 音楽：コトリンゴ / 監督・脚本：片淵須直
企画：丸山正雄 / 監督補：画面構成：浦谷千恵 / キャラクターデザイン・作画監督：松原秀典 / 美術監督：林孝輔 / プロデューサー：真木太郎
制作統括：GENCO / アニメーション制作：MAPPA / 配給：東京テアトル / 助成：文部科学省文化庁文化芸術振興費補助金 / 製作：「この世界の片隅に」製作委員会
日本中の想いが結集！100年先も伝えたい、珠玉のアニメーション

白河本町
上映会
1月12日
(土)

konosekai.jp

©このの史代・双葉社/「この世界の片隅に」製作委員会

映倫
E1800-A

小さな週末映画祭 2019 第1回

#会場は白河市のカフェ EMANON

#チケットは街のレシート

1月12日 土

午前の部 11:00 ~

午後の部 15:00 ~

#満席25人、ご予約がおすすめ

#時間に余裕を持って来場ください



● 上映作品紹介：1月12日（土）

午前の部 11:00～ / 午後の部 15:00～

日本中の想いが結集。100年先に伝えたい珠玉のアニメーション

この世界の片隅に

片淵 須直 監督作品

昭和19年、すずは広島・呉へとお嫁にやってくる。戦争によって配給物資がだんだん減っていく中でも、すずは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には絵を描き、毎日の暮らしを積み重ねていった。しかし、昭和20年3月、呉は空襲にさらされ、日々大切にしていたものが失われていくのだった――。監督・片淵須直、女優のん、音楽・コトリンゴで2016年に数々の映画賞を受賞したアニメーション映画の新たな到達点。

2016年/上映時間 126分 / 「この世界の片隅に」製作委員会 / 第40回日本アカデミー賞 最優秀アニメーション作品賞 / 2016年 第90回キネマ旬報ベスト・テン 第1位 / 第59回ブルーリボン賞 監督賞



● 上映作品紹介：1月13日（日）

1作品目 13:00～ / 2作品目 16:10～
上映後、監督によるトークショーあり

我妻 和樹 監督作品 連続上映1作品目

波伝谷に生きる人びと

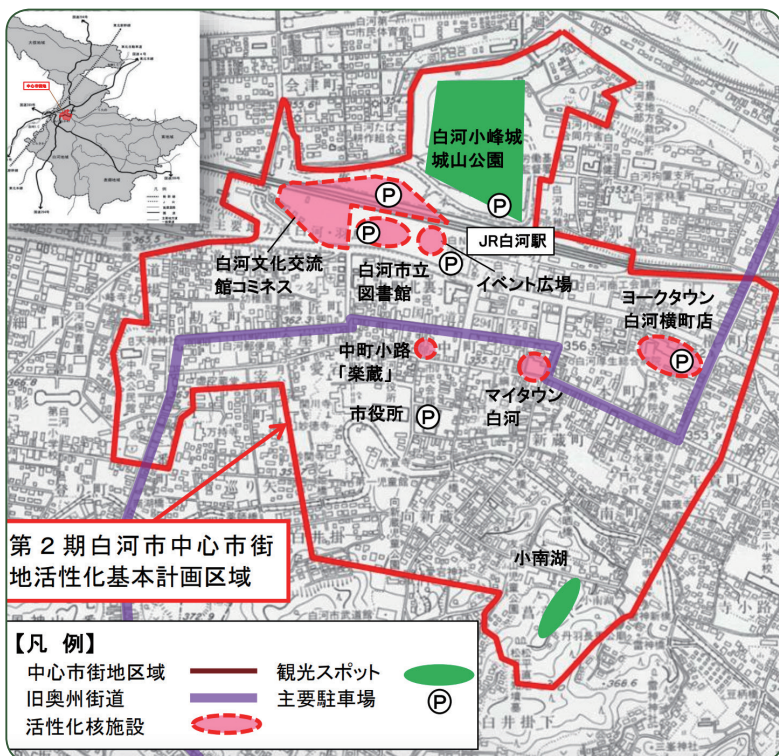
宮城県南三陸町の小さな漁村「波伝谷（はでんや）」集落。自然に寄り添いながら、地域に残る「結い」や「溝」を継承し、日々の暮らしを懸命に生きる「普通の」人々がいた。2008年、一人の若者が映画を撮る夢を携えやってくる。それから3年後の2011年3月11日、彼は映画の試写会の準備のため波伝谷に向かっていった――。2014年/上映時間 135分 / ピーストゥリー・プロダクツ / 第36回びあフィルムフェスティバル PFF アワード 2014 日本映画ペンクラブ大賞



我妻 和樹 監督作品 連続上映2作品目

願いと揺らぎ

海が揺れた、土地が揺れた、そして心も――。震災から1年後の南三陸、波伝谷。津波によって集落が壊滅した波伝谷では、地域で最も大切にされてきた行事「お獅子さま」復活が人々の心をつなぎつける希望となっていた。しかし、多くの課題に直面している人々の足並みは揃わず、摩擦や衝突を重ねたままお獅子さま復活の準備が進んでいた――。12年の記録を凝縮した、被災地の生きた証。2017年/上映時間 147分 / ピーストゥリー・プロダクツ / 山形国際ドキュメンタリー映画祭 2017 インターナショナル・コンペティション 正式出品



● チケットは、街のレシートです

- ADMIT ONE おとな = 1000円以上のレシート
- ADMIT ONE 高校生以下 = 500円以上のレシート

「小さな週末映画祭」のチケットは 白河市中心市街地での買い物レシートです。
対象のレシートとなるお店は、会場でもあるコミュニティ・カフェ EMANON や本町商店街を含む、左記の地図赤い枠で示された白河市中心市街地活性化基本計画区域内にあるお店のレシートです。

- 【注意点 Notice!】
- ①レシートは、上映日から3日以内のものが対象です。
 - ②レシートは、人数分の金額以上のものがが必要です。
例) おとな2人 + こども1人 = 2500円分以上
 - ③レシートは、店舗名と購入日を確認し、返却します。
 - ④金券・切手類の購入は対象外です。
 - ⑤当日、会場となるコミュニティ・カフェ EMANON での飲食物などの購入も対象です。

プロジェクト

福島白河にある本町商店街。カフェ「EMANON」と江戸時代から使われていた宿「旧脇本陣蔵座敷」をシアタールームにして、全4回の「小さな週末映画祭」を開催します。独特な建物の中で流れる時間、そして白河の街を、映画と一緒に楽しんでください。

- <主催> 本町シアタールームプロジェクト
<代表> 佐々木 郁哉
<事務局> コミュニティ・カフェ EMANON 青砥 和希
この事業は、小グループまちなか活動支援事業補助金（白河市中心市街地活性化支援事業）を活用しています。



ぼくらの街に、
映画館があったなら。

「小さな週末映画祭」
福島県白河市本町9番地にて。



予約のご案内

上映会のお席の予約を承ります。満席時、事前予約の方を優先してご案内します。当日の観覧も可能ですが、確実な観覧ご希望の方は、予約をおすすめします。

■連絡事項

「お名前」「人数」「希望作品」「上映時間」「連絡先」

■予約方法（お問い合わせはこちら）

□電話で

0248 - 57 - 4067

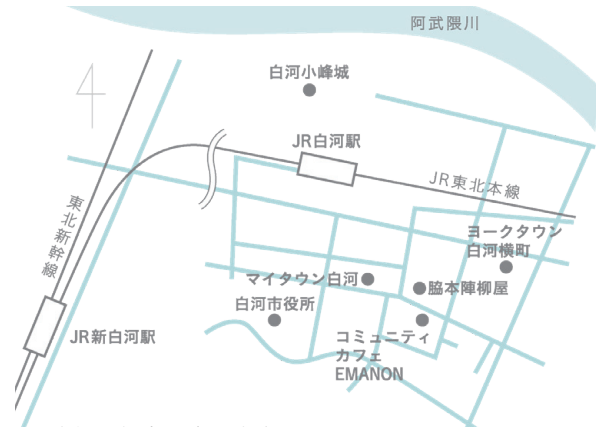
電話受付時間 = カフェ EMANON 営業時間
営業時間…12:00 ~ 22:00
定休日…水曜日・木曜日

□メールで

staff@junbishitsu.jp

当団体からの返信メールをもって、受付とします。
このアドレスをブロックしないようお願いします。

アクセスのご案内



会場 福島県白河市本町9

コミュニティ・カフェ EMANON

「三井のリパーク白河大東銀行」「はなすけ駐車場」
など、近隣の有料駐車場をご利用ください。

詳しくは <http://emanon.fukushima.jp/access>

おすすめインフォメーション

白河まちなか逸品



白河の街中の専門店それぞれが誇る「逸品」を取り上げたカタログ。お気に入りのお店を見つけてください。

裏庭編集部 白河



白河の高校生が取材するフリーペーパー「ヨリミチ」が読めます。配布中の2号は「高校生でも打ち上げできるお店特集。」高校生の視点から新たな発見があるかも？

Rock and fiddle



薬局のビルの3階にあるボルダリングのできるジム。受付・体験も1階のワタナベ薬局さんに相談です！

登龍 日本酒



大谷中吉本店は、本町にある煙突のある酒蔵。試飲しながらお買い物できます。運が良ければ、社長さんみずからお酒の魅力を教えてくれるかも。

次回予告！

「小さな週末映画祭」第3回・第4回は
2月と3月に予定されています。
どちらも会場は「旧脇本陣蔵座敷」を予定しています。
確定次第、ウェブサイト・ツイッターにて告知します。

第3回 2月24日（日）
（タイトル未定：コメディ作品）
第4回 3月2日（土）
「旅立ちの島唄」（吉田康弘監督）

ウェブサイト



movie_shirakawa





は でん や
波伝谷に生きる人びと

我妻和樹監督作品

第13回山形国際ドキュメンタリー映画祭「ともにある Cinema with Us 2013」正式出品
第36回びあフィルムフェスティバル「PFF アワード 2014」日本映画ペンクラブ賞受賞



本町シアタールーム プロジェクト

願
揺いと
揺らめ



小さな週末映画祭 2019 第2回

◆ 会場は白河市のカフェ EMANON

◆ チケットは街のレシート

1月13日 日

1作品目 13:00 ~

2作品目 16:10 ~

◆ 満席 25 人、ご予約がおすすめ

◆ 我妻監督によるゲストトークあり



製作：ピースストーリー・プロダクツ 監督：我妻和樹

movie_shirakawa